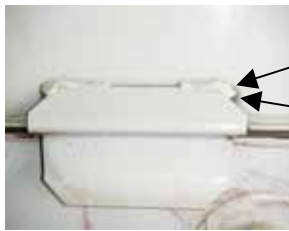
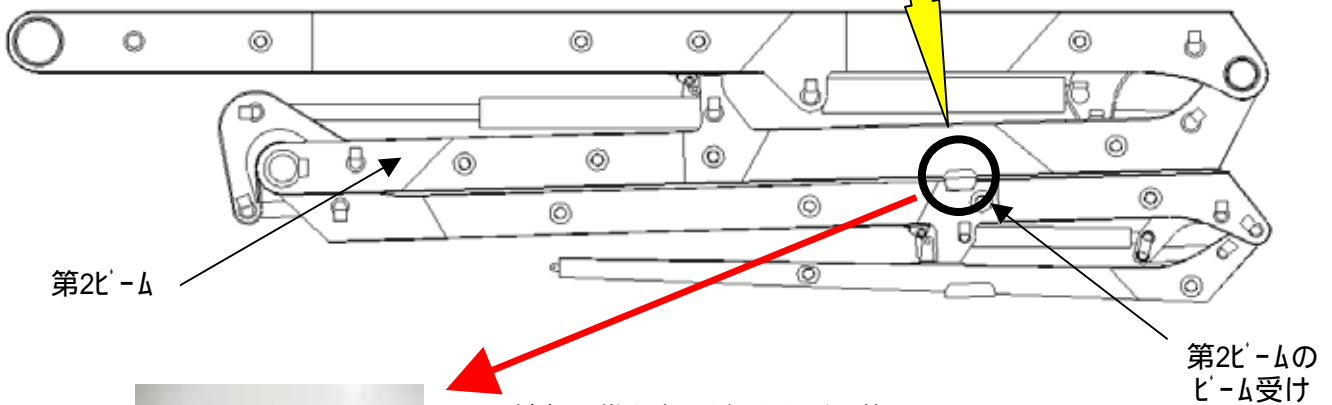
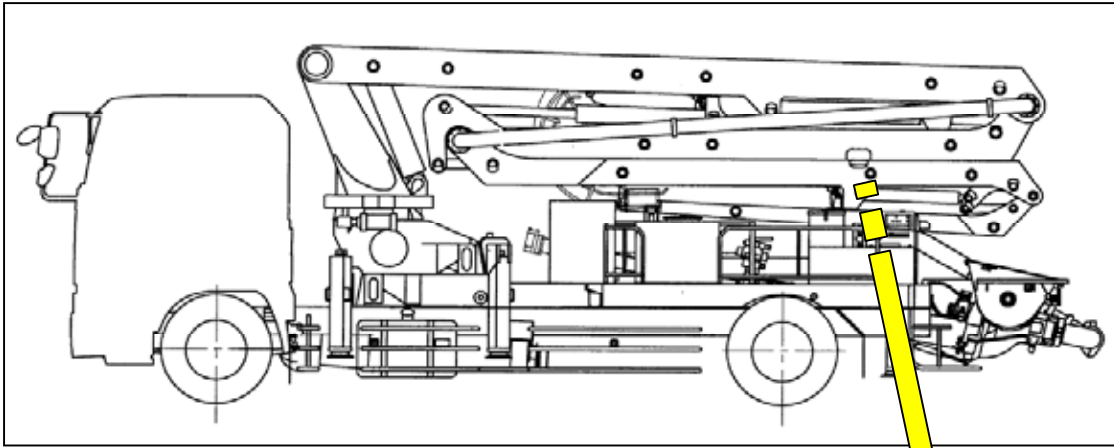


改善箇所説明図

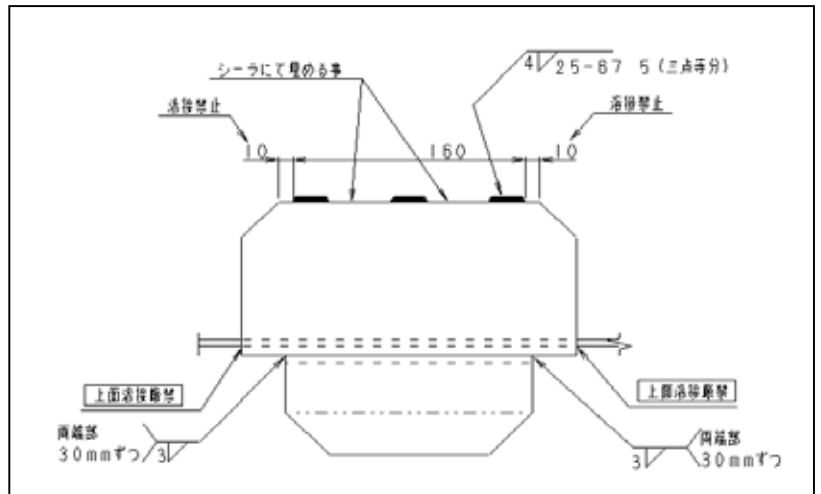
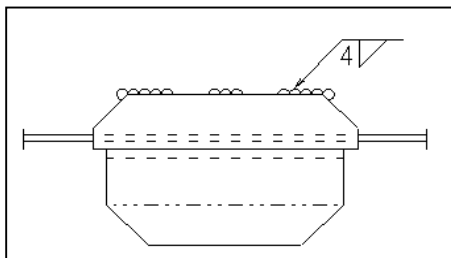


端部を巻き込んだような形で施工

溶接端部からヘアクラック発生

改善処置

現状



ビーム受け端部の溶接を調査し、補修工事を行なう。
 ・ビーム受けの端部を溶接禁止として施工する。
 ・ビーム受けのリブ部を延長してビーム側板部の中央部にて溶接を行う。

不具合の内容

コンクリート作業車 PY115-26、PY100-26H、PY80-26Hの第2ビームのビーム受け部において、溶接の施工不備の影響により使用方法によってはヘアクラックの発生に至る可能性があり、ヘアクラックが発生した状態のまま使用を続けると、ビームが変形して作業に支障をきたす恐れがある。

改善の内容

対象車両全車 第2ビームのビーム受け部において、ビーム受け端部の溶接を調査し、補修工事を行なう。
 1) ビーム受けの端部を溶接禁止として施工する。
 2) ビーム受けのリブ部を延長してビーム側板部の中央部にて溶接を行う。